

# すきま

## チーム8



mahiro



Aoki



miso



yadon

# 突然ですが...

これからごはんに行きたいけど、  
すぐに一緒に行く人を捕まえるのが難しい



突然ですが...

具体例を見てみましょう



# 具体例



大学生 D子

## プロフィール

お寿司大好き 大学生 🍣  
D子さん

# 具体例



大学生 D子

お寿司、行きたいな  
でも誰を誘おう...

# 具体例

お寿司、行きたいな  
でも誰を誘おう...



大学生 D子



大学の友人  
Aさん

# 具体例

お寿司、行きたいな  
でも誰を誘おう...



大学生 D子



大学の友人  
Aさん



研究室の友人  
Bさん

# 具体例

お寿司、行きたいな  
でも誰を誘おう...



大学生 D子



大学の友人  
Aさん



研究室の友人  
Bさん



サークルの後輩  
Cさん



# 具体例



17:30

ごはん、行かない？  
お寿司食べたくなっちゃった



大学生 D子



大学の友人  
Aさん

# 具体例



17:40

ごはん、行かない？  
お寿司食べたくなっちゃった



大学生 D子

ごめん、  
今日は習い事があるって...



大学の友人  
Aさん

# 具体例



17:40

ごはん、行かない？  
お寿司食べたくなっちゃった



大学生 D子



研究室の友人  
Bさん

# 具体例



18:00



大学生 D子

ごはん、行かない？  
お寿司食べたくなっちゃった

ごめん、先約があって。  
また今度行こう！



研究室の友人  
Bさん

# 具体例



18:00

ごはん、行かない？  
お寿司食べたくなっちゃった



大学生 D子



サークルの後輩  
Cさん

# 具体例



18:15

ごはん、行かない？  
お寿司食べたくなっちゃった



大学生 D子

ぜひぜひ！！  
美味しいお店知ってます！



サークルの後輩  
Cさん

# 具体例



18:15



やっと一緒に行く相手が見つかりました！

でも、声をかけ始めてから**45分**もかかりましたね

# 課題

## Needs

一緒にごはんに行く人を**お手軽に捕まえたいが、**



# 課題

## Needs

一緒にごはんに行く人をお手軽に捕まえたいが、

## Problem

ダブルブッキングする恐れがあるので

同時に複数人に聞くことはできない



# プロダクト

すきーま



# プロダクト

すき一まは、  
ちょっとした隙間時間ができたときに  
一緒に過ごす相手をお手軽に見つけられます



# 使い方

1

イベントの作成



まずはアプリを開いて  
イベントを作成します

2

URLの発行



イベントを作成すると  
イベントに参加する用の  
URLが発行されます

3

URLの共有



発行されたURLを  
自分の普段使っている  
SNSで共有しましょう

# デモ



# 3つの特徴

**URL**  
で完結

## 誰でも使いやすい

複雑な操作はいりません。  
作成したイベントの URL を  
共有するだけです。

参加者は  
**登録不要**

## 登録なしで使える

参加者は事前にユーザー登録  
などは不要です。

ダブルブッキング  
**しない**

## No ダブルブッキング

安心してください、  
ダブルブッキングは発生しません。  
それでいてかつ平行して  
まわりの人に声を掛けられます。

# メリット

## 誘う側

- ・ダブルブッキングが発生しない
- ・断りの連絡を入れる必要がない
- ・こちらから聞く手間がなくなる

## 誘われる側

- ・事前に誰がいるのかわかる
- ・断る申し訳なさなどがない

# メリット

## 誘う側

- ・ダブルブッキングが発生しない
- ・断りの連絡を入れる必要がない
- ・こちらから聞く手間がなくなる

## 誘われる側

- ・事前に誰がいるのかわかる
- ・断る申し訳なさなどがない

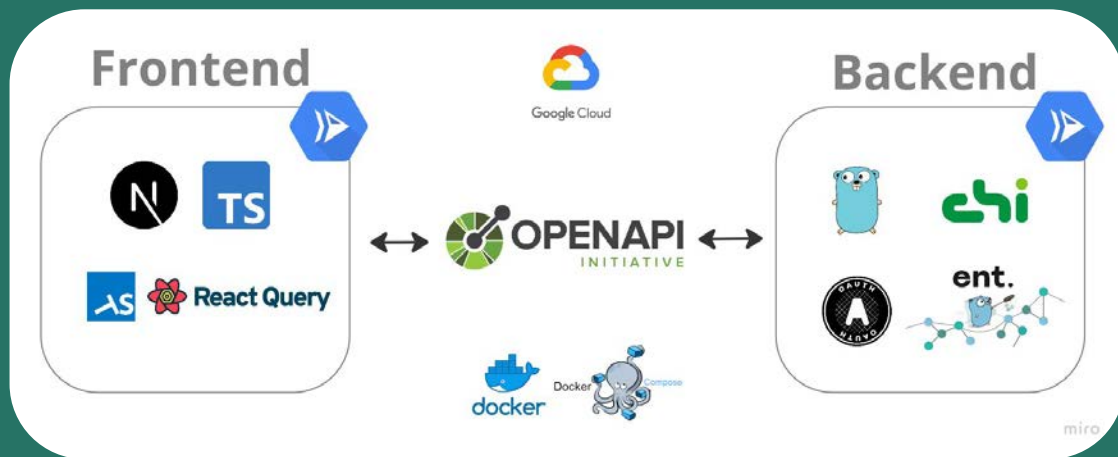


開発 

---

# 技術スタック

openapiを用いたスキーマ駆動開発



# アーキテクチャ

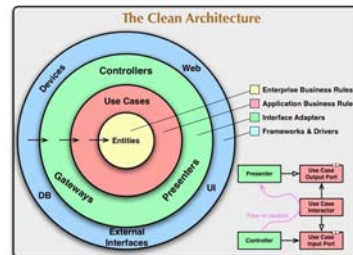
## Frontend

BFFのような層を用意し、  
サーバー側のAPIを集約するロジックの実装  
またfp-tsを用いて型安全な実装



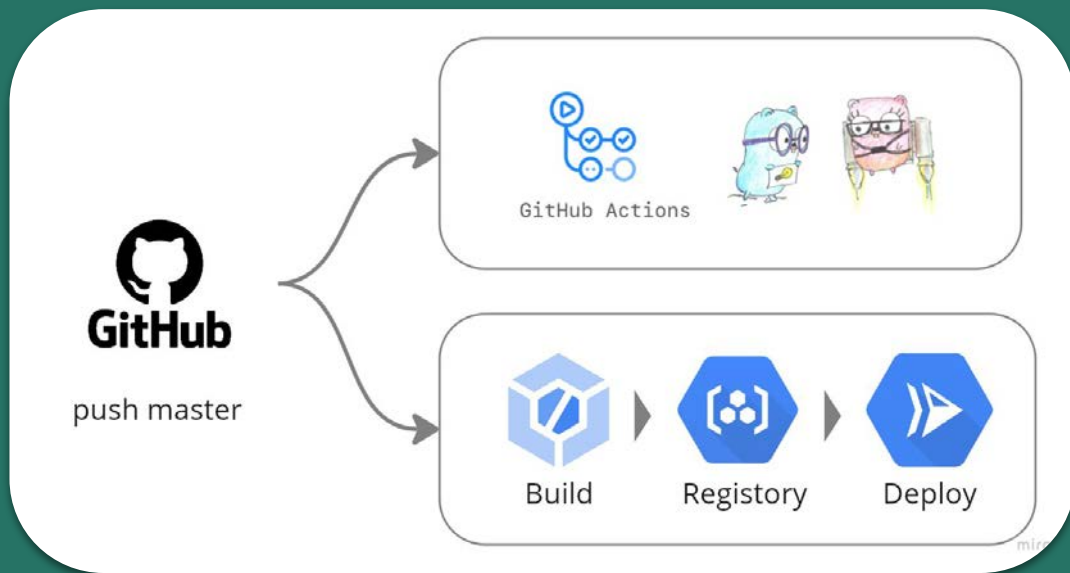
## Backend

責務を分割することで**変更**に強く  
**疎結合**である**CleanArchitecture**を採用



# CI / CD

## 自動テスト・自動デプロイの実装



# その他 技術的な挑戦

## OAuth 2.0

firebase authなどに頼らず  
自前で認可コードフローの実装。  
session情報を用いて  
ソーシャルログインが可能

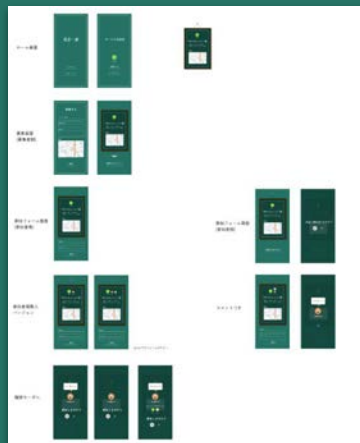
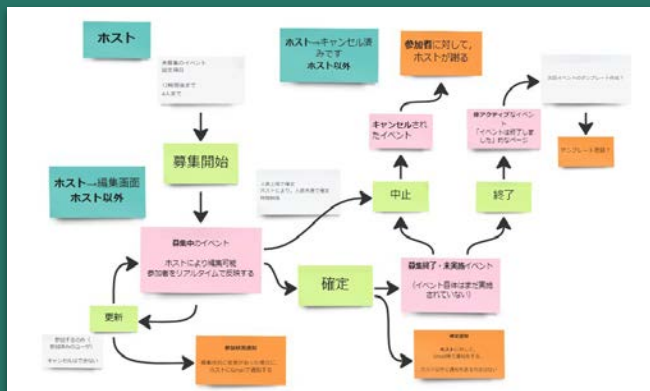


## middleware

Nextのmiddlewareを用いて  
認証まわりの処理を集約し  
UX・DXの向上を図る



# 設計



最後に

---

このアプリって大学生向けなの...?





# なぜ大学生？

## 多くの隙間時間



ごはん



空きコマ



突然の休講



サークル活動の  
前後



## 様々なコミュニティ



大学



研究室



サークル



家族

# なぜ大学生？

多くの隙間時間

様々なコミュニティ

隙間時間を誰と何をして過ごすかの  
選択肢が多い大学生にこそ  
すき一まを使って有効活用してほしい



突然の休講



サークル活動の  
前後



大学



研究室



サークル



家族

# すきーま

“すきま”時間を  
”すきーま”で有効活用しませんか？



🍣 リンクはこちらから！ 🍣



<https://gc-schema.net>

